

栃木県中学校新人体育大会 バドミントン大会

【感染防止対策】

1. 入場制限

- ・団体戦、個人戦ともに応援生徒の入場は認めない。
団体戦、個人戦ともに選手1名あたり保護者1名の入場を認める。

2. 同意書の提出

- ・選手の大会参加にあたっては別紙「栃木県中学校体育連盟主催事業 保護者 同意書」を事前に学校長に提出するものとする。

3. 入場者の健康状態確認

- ・会場に入場する者は全員（保護者も）各学校に集合し（直接現地集合にしない）、顧問が当日の健康状態を確認、体調不良者は帰宅させる。また、家族に発熱等の体調不良者がいる場合も大会への参加を控えさせる。会場への入場は、保護者も含め顧問の監督の上で学校ごとにまとまって行うこと。個別の入場は認めない。
- ・顧問は、「健康チェックシート」を用いて保護者の体調を確認する。
- ・顧問は、「学校同行者体調記録表」に入場者全員の体温や体調を記入し、入場時に2部提出する。「健康チェックシート」も合わせて提出する。
- ・必要な様式は栃木県中体連バドミントン専門部のホームページからダウンロードして使用すること。

4. 感染防止の対策

①選手の対策

- ・トイレの後や試合後、審判を行う前などこまめな消毒をする。
(通路、各コート、本部等に消毒液を設置)
- ・競技や準備運動などの身体活動以外の場面でのマスクの着用を義務付ける。
熱中症予防の観点から、その限りでない場合もあるが、体育館内では常時着用する。
- ・昼食時は観客席で十分な距離を確保し、黙食する。

②指導者への対策

- ・マスクの着用を徹底する。
- ・専門部で用意したアルコールを本部に常備し、こまめに消毒を行う。
- ・生徒の体調不良時や緊急時の対応のため、保護者と連絡がつく状態を常時確保しておく。（各校で保護者に事前に周知すること）
- ・IDカードの着用を徹底する。

③保護者の対策

- ・マスクの着用を徹底する。
- ・学校ごとに朝の入場までにIDカードを配布し、会場内での着用を徹底する。
IDカードは各校で用意すること。IDカード不所持の場合は、退場していただく。
- ・こまめに手指消毒を行う。

④施設、設備面の対策

- ・試合への影響を考慮した上で、できる限り窓とドアを常時開放する。
(換気と、ドアへの接触防止)
- ・生徒の控え場所は、3密防止に配慮した場所とする。
- ・会場使用後の消毒は教員(各校バドミントン部顧問)が行う。
- ・開場までの時間、入り口付近が密にならないようにする。
(早く来場しすぎない できるだけ車内で待機)
- ・大会本部にはアクリル板を設置し、飛沫感染防止に努める。

5. 競技に係る対策

①試合前について

- ・開閉会行事を行わないが、競技開始前に選手を十分に分散させた状態で競技場の注意や会場使用上の注意を伝える時間を設ける。
- ・試合開始前は互いの間隔を1m以上空けて、ネットを挟んで整列し、審判の合図で挨拶を行う。握手は行わない。
- ・試合前の円陣は行わない。

②試合中について

- ・シャトルの受け渡しの際に手を極力使わない。
- ・シャトルに顔を近づけない。
- ・シューズの裏を手で触らない
- ・他人のタオルやドリンクなどには触らない。
- ・コートサイドには、選手が使用するカゴを設置しない。
各自バッグを持参し、水筒やタオルを入れる。
- ・シャトル交換はコートごとにカゴを用意する(新品用、使用済み用の2つ)。
主審はシャトルが不足したら本部に回収カゴをもって来る。

③審判について

- ・マスクを着用して審判を行う。(水分補給を促し、熱中症対策を講じる)
- ・主審や線審のコールは通常通り行う。
- ・審判に入る前に、コートに用意してあるアルコールで手を消毒する。
- ・主審はスコアシートを記入する際、自分の筆記用具を使用する。
- ・団体戦のスコアシートはすべての試合が終了したら主審が本部に持ってくる。
- ・個人戦のスコアシートは勝者が本部に持ってくる。
- ・スコアシートに勝者サインは行わないが、トラブル防止のため主審の署名は行う。

④応援について

- ・応援は、声援を不可とし、拍手のみとする。
- ・リズムをとっての拍手は認めない。
- ・応援する際には間隔を十分にとり、密を避ける。また、手すりにはできるだけ触れないようにする。基本的に自席での応援とする。(移動しての応援は認めない)

参考：「新型コロナウイルス感染症対策に伴うバドミントン活動ガイドライン」
公益財団法人 日本バドミントン協会